

## 情勢報告（令和7年10月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

### 新しい仲間とともに学ぶ！

#### ～シシトウ部会現地検討会～



現地検討会の様子

9月18日にJA高知県れいほく園芸部シシトウ部会が現地検討会を開催し、生産者14名が出席しました。

シシトウ部会には、今年加入した新規栽培者が2名おり、普及所はJAや部会役員と協力しながらサポートを行っています。

今回は新規栽培者のほ場でも検討会を行い、新規栽培者からは「先輩部会員から現場ならではの意見をもらい、勉強になった」と技術向上に前向きな様子が見られました。

普及所からは、作終盤のほ場管理や防除対策等の栽培指導を行いました。

普及所は、今後も関係機関と協力しながら品質向上・収量の確保に向けた指導を行うとともに、次作に向けた新規栽培者募集などの部会の取組を支援していきます。

### 彩りピーマン安定出荷に向けて

#### ～カラーピーマン部会現地検討会～



現地検討会の様子

9月19日、JA高知県れいほく園芸部カラーピーマン部会が本山町の栽培ほ場で現地検討会を開催し、部会員7名が参加しました。

普及所からは、かん水や温度管理など、これからの栽培管理について、また高温対策の新たな遮熱資材とオレンジ色の有望品種の現地試験調査結果について説明を行いました。

参加者の遮熱資材への関心は高く「価格はどれくらいか。生育への影響は無いのか。」といった質問があり、有望品種については試作した部会員から果実品質などについて意見が出されました。

今後も普及所はJAと連携して部会活動を支援し、収量・品質の向上と有利販売につながる課題解決に取り組んでいきます。

### 担い手の確保に向けて

#### ～大豊町就農相談～



就農相談の様子

普及所は新規就農者の確保・育成に向けた支援を行っています。9月26日、大豊町での就農希望者に対し、町・普及所職員で就農相談に対応しました。

町・普及所は大豊町に適した就農品目や就農までのスケジュール、産地提案書や地域おこし協力隊制度を活用した就農イメージ、各種支援制度等を説明し、地域の農家での農作業体験を提案しました。

就農希望者からは「相談できて良かった。農作業体験等を通じてまずは自分がどのような農業をしたいかイメージを固めたい。」との声がありました。

普及所は、就農希望者が自分に合った農業ができるように、またその先も安定した経営ができるように引き続き関係機関と連携して支援していきます。

## 高品質なユズの出荷に向けて ～青果ユズ目慣らし会～



目慣らし会の様子

10月16日、JA高知県れいほくゆず部会がおおとよ支所で目慣らし会を開催し、生産者9名が参加しました。

普及所からは県内外のユズの生育状況を周知したほか他産地の事例をもとに隔年結果を抑制するための適切な施肥を説明しました。部会長からは微量要素欠乏対策の取組の紹介があったことから、参加者の施肥技術への理解がより深まりました。

青果ユズの目慣らしでは選別に関する様々な質疑応答が交わされ、安定出荷に向けて部会内での意識統一がされました。

今後も普及所は、関係機関と連携しながら部会全体の相互研鑽に向けた活動を支援していきます。